

第4回定例会

第4回定例会が12月16日から18日の間で開催され、一般会計と4特別会計の補正予算のほか議案等審議を行い、6件を付託審査としたほか、原案のとおり可決しました。

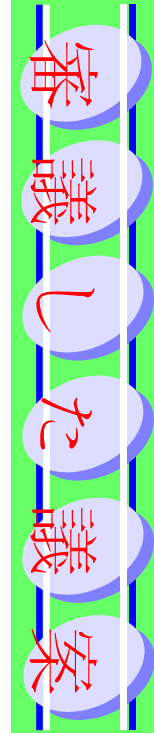
・審議した議案①

農用地や水路等の保全活動のための

「多面的機能支払交付金事業」に

3年連続の福祉灯油に

500万円を予算計上!



予算

□平成26年度一般会計補正

予算(第7号)

4452万円が追加され、
予算の総額が56億1662万円になりました。

【主な歳入】

- ・普通交付税 2088万円
- ・医療施設等施設整備費(へき地診療所)補助金 2835万円
- ・社会保障・税番号制度システム整備費補助金 390万円

・減債基金繰入金 ▲2000万円

・前年度繰越金 9905万円

【主な歳出】

- ・高齢者等石油製品価格高騰対策扶助費 500万円
- ・老人福祉センター配管改修工事 428万円
- ・後期高齢者医療療養給付費負担金 658万円
- ・多面的機能支払交付金事業負担金 1525万円

- ・へき地診療所整備事業費補助金 ▲2923万円
- ・財政調整基金繰入金 ▲6000万円



建設中の佐呂間漁協排水処理施設

- ・産地水産業強化支援事業費補助金 420万円
- ・商工業活性化事業補助金 325万円

【主な歳入】

・前年度繰越金 100万円

【主な歳出】

・修繕料 100万円

□平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

1342万円が追加され、
予算の総額が8億9921万円になりました。

【主な歳入】

- ・療養給付費等交付金現年度分 257万円
- ・その他繰越金 1094万円

【主な歳出】

- ・退職被保険者等高額療養費負担金 103万円
- ・国庫負担金等返還金 1183万円

□平成26年度簡易水道特別会計補正予算(第3号)
100万円が追加され、
予算の総額が2億8162万円になりました。

第4回定例会

・ 審議した議案②

「特定教育・保育施設、特定地域型保育事業」
 特定教育・保育施設とは幼稚園と保育所のいところをひとつにした認定こども園、幼稚園、保育所のことを言い、佐呂間町では常設の佐呂間保育所が該当します。
 特定地域型保育事業とは①家庭的保育（5人以下）、②小規模保育（6～19人）、③事業所内保育（会社の保育施設で地域の子供も保育）、④居宅訪問型保育（個別のケアが必要な場合などに保護者宅で1対1で保育）を言います。

条例

□ 重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

□ 平成26年度公共下水道特別会計補正予算（第3号）

136万円が追加され、予算の総額が2億4724万円になりました。

【主な歳入】
 ・ 前年度繰越金 136万円
 【主な歳出】
 ・ 特環下水道整備事業業務委託料 136万円

□ 平成26年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

276万円が追加され、予算の総額が5億3393万円になりました。

【主な歳入】
 ・ 前年度繰越金 276万円
 【主な歳出】
 ・ 居宅介護住宅改修費 159万円

□ 佐呂間町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
 次代の社会を担う子供の健全な育成を図るため、次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、引用条文を変更するため条例の一部改正を行いました。

□ 佐呂間町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
 平成27年4月から実施予定の子ども・子育て支援新制度に伴い、町からの給付費を受けようとする保育所等の運営内容の確認を行うため、運営に関する基準を定める条例案が提案されましたが、総務福祉常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。

□ 佐呂間町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
 平成27年4月から実施予定の子ども・子育て支援新制度に伴い、放課後児童クラブの認可を市町村が行うこととなるため新規条例案が提案されましたが、総務福祉常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。

□ 佐呂間町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について
 平成27年4月から実施予定の子ども・子育て支援新制度に伴い、乳幼児の保育を行う事業所などの認可を市町村が行うこととなるため新規条例案が提案されましたが、総務福祉常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。

□ 佐呂間町地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例の制定について
 平成27年4月から実施予定の子ども・子育て支援新制度に伴い、乳幼児の保育を行う事業所などの認可を市町村が行うこととなるため新規条例案が提案されましたが、総務福祉常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。

□ 佐呂間町立佐呂間保育所条例の一部を改正する条例制定について
 平成27年4月から実施予定の子ども・子育て支援新制度に伴い、保育の必要性の認定が必要となるため条例の一部改正案が提案されましたが、総務福祉常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。



□ 佐呂間町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について
 平成27年4月から実施予定の子ども・子育て支援新制度に伴い、乳幼児の保育を行う事業所などの認可を市町村が行うこととなるため新規条例案が提案されましたが、総務福祉常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。

第4回定例会

・審議した議案③

報告

意見書

□道外行政調査報告
道外行政調査について、報告がなされました。
(報告要旨は10〜14頁に掲載)

□漁業用燃油にかかる軽油引取税免税措置の堅持に関する意見書の提出について
本道の漁業を取り巻く環境は、燃油や資材価格の高騰などにより厳しい経営状況にあります。

選挙

□佐呂間町選挙管理委員及び同補充員の選挙について
選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴う選挙の結果、次の方が当選されました。

こうした中、漁業用の軽油については、特例として平成27年3月まで軽油引取税の免税措置が延長されていますが、経営コストに占める割合がきわめて大きい燃油の免税措置が廃止されれば、漁業経営に大きな影響を及ぼすこと

- ◎委員
- ・仁 倉 内藤学峰氏
 - ・永代町 榎本彰氏
 - ・浜佐呂間 藤原一成氏
 - ・共 立 八矢憲一氏
- ◎補充員(順位)
- ①永代町 佐々木益弘氏
 - ②若 佐 宇佐美照子氏
 - ③浜佐呂間 村岡忠氏
 - ④若 佐 月居顕示氏



漁場へと向かう漁船

から免税措置の堅持を求める意見書が可決され、関係大臣宛提出されました。

□平成27年度畜産物価格決定等に関する要望意見書の提出について
本道の酪農・畜産は、生産コストの上昇により、経営の厳しさが増しているとともに、日豪EPA協定発効やTPP交渉の合意に向けた動きなどの先行き不安から農家戸数の減少が続いており、国は「農林水産業・地域の活力創造プラン」を踏まえた新たな酪農・肉用牛近代化基本方針などの策定に向け検討を進めています。

□安全・安心の医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書の提出について
平成26年に成立した医療介護総合法は、地域における効果的かつ効果的な医療提供体制の確保や地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化などを掲げているが、国の公的責任を地方自治体と住民に転嫁するものであり、厳しい自治体財政と医療・介護従事者の人材確保が困難の中で、地域の医療と介護を崩壊させかねないものです。また、医療・介護の現場は、賃金や労働条件の厳しさから深刻な人員不足にもなっています。

こうした中、酪農・畜産の持続可能な発展を図るため、現在の諸課題に対処した意欲の持てる畜産物価格等の決定及び酪農・畜産政策の推進を求める意見書が可決され、関係大臣宛提出されました。



こうしたことから、医療・介護の崩壊をくい止め、安全・安心な医療・介護を提供するため、自治体、住民に負担をかけない対策を国の責任において講じるとともに、医療・介護従事者の増員、さらに利用者の自己負担の軽減を図るため診療報酬・介護報酬の改善を求める意見書が可決され、関係大臣宛提出されました。

第4回定例会

・町長行政報告

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

町長行政報告



計画量を確保できる見込みの生乳生産

□農業情勢について
農産物全体としては、農協の平成26年度農産物販売計画14億9600万円に対し、実績では5%減の14億1800万円程度を見込んでいるとのことです。
畜産関係では、生乳生産の計画数量4万5100トンを確保できる見込みであり、酪農畜産の販売額は、計画63億

6000万円に対し、乳価の引き上げや畜産物の個体販売価格が堅調に推移したことから、実績では7%増の68億円程度となる見込みであり、今後も生乳生産の増産に大いに期待するところです。

農業販売額全体では、計画78億6000万円に対し実績では4.5%増の82億1800万円となる見込みであるとの報告を受けており、農業全体としては「恵みの年」となったものと思っております。

□漁業について

外海ホタテ漁業は、8%の減少で推移しており、価格は計画に対して133%の実績になっているとのことです。
養殖ホタテ漁業については、1700トン、キロ単価は190円の計画でしたが、1630トン、キロ単価は300円と高額で推移しているとの報告を受けております。

サケ定置網漁業は、漁獲量では1129トンと前年対比99%、漁獲金額では4億8000万円、対前年比106%の水揚げで11月末に終了しております。
このような状況の中、佐呂

間漁業協同組合の今年の総水揚げ額は、計画対比128%の30億円余りが見込まれるとのことであります。



価格が好調な外海ホタテ漁業

□林業について

町有林については、造林事業や下刈り事業など53箇所を実施しており、現在行っている1箇所素材生産事業をもちまして全ての事業が終了する予定となっております。

民有林は、森林組合において補助制度を活用しながら、造林事業や下刈り事業など248箇所の事業が行われております。

□商工業について

「プレミアム付ききっぷ」と「商品券」が、夏・冬の販売と

もに完売しております。商工業活性化補助金については6件の利用、住宅建設事業補助金については新築2件、増改築23件の利用、トーヨータイヤ販売促進事業につきましては299本の販売となっております。

□公共事業の執行状況について

事業件数67件、事業費の総額15億1800万円の全ての事業を発注いたしました。現在までに多くの事業が順調に完了を向かえております。

道営土地改良事業の執行状況につきましては、本年度は調査設計のみの事業となっております。



1月に開業した調剤薬局